

## 【FDG-PET 検査の保険適用について】

産業医科大学病院放射線科 2020年6月改訂

FDG-PET については保険適用が具体的に定められています。以下の保険適用の要件を満たすかどうかを御確認の上で FDG-PET 検査依頼を行うよう、お願いいたします。

### 保険適用の概要

#### 1. てんかん

難治性部分てんかんで外科切除が必要とされる患者に使用する。

#### 2. 心疾患

虚血性心疾患による心不全患者における心筋組織のバイアビリティ診断（他の検査で判断のつかない場合に限る。）、心サルコイドーシスの診断（心臓以外で類上皮細胞肉芽腫が陽性でサルコイドーシスと診断され、かつ心臓病変を疑う心電図又は心エコー所見を認める場合に限る。）又は心サルコイドーシスにおける炎症部位の診断が必要とされる患者に使用する。

#### 3. 悪性腫瘍（早期胃癌を除き、悪性リンパ腫を含む）

他の検査、画像診断により病期診断、転移・再発の診断が確定できない患者に使用する。

#### 4. 高安動脈炎等の大型血管炎

他の検査で病変の局在又は活動性の判断のつかない患者に使用する。

- ① 早期胃癌を除く悪性腫瘍の病期診断または転移・再発の診断について保険適用となりますが、病理学的または臨床的に診断が確定している事が原則条件になります。
- ② 病理診断による確定診断が得られない場合については、臨床病歴、身体所見、PET あるいは PET/CT 以外の画像診断所見、腫瘍マーカー、臨床的経過観察、などにより、**臨床的に高い蓋然性をもって悪性腫瘍と診断されている場合**、保険適用となります。「悪性腫瘍”疑い”」の病名は保険適用外です。

**※何れも、当院放射線科宛の紹介状（検査依頼用紙とは別にご用意ください）に病名および診断や治療の経緯の記載をお願いします。画像診断のための臨床情報として参照させていただきます。**

### ③ 適用例

- a) 治療前の病期診断
- b) 転移・再発を疑う臨床的徴候、検査所見がある場合の診断
- c) 二段階治療を施行中の患者において、第一段階治療完了後の第二段階治療方針決定のための病期診断、たとえば、術前化学療法後、または、術前化学放射線治療後における術前の病期診断、等
- d) 手術、放射線治療などによる変形や瘢痕などのため他の方法では再発の有無が確認困難な場合
- e) 経過観察などから治療が有効と思われるにもかかわらず他の画像診断等で腫瘍が残存しており、腫瘍が残存しているのか、肉芽・線維などの非腫瘍組織による残存腫瘍なのか、を鑑別する必要がある場合
- f) 悪性リンパ種の治療効果判定（転移・再発診断の目的に該当するとの見解）

### ④ 保険適用にならず、検査をお断りする例

- a) 悪性リンパ腫以外の悪性腫瘍における、化学療法や放射線治療の効果判定の目的
- b) 再発を疑う強い所見が無い定期的な経過観察目的
- c) 腫瘍マーカー高値のみによる存在診断目的
- d) 非適用疾患の場合
- e) **同一月内にガリウムシンチグラフィが実施されている場合**
- f) DPC 包括請求で入院中（入院日・退院日を含む）の場合
- g) スクリーニング目的、健康診断目的

問い合わせ：

産業医科大学病院核医学 PET-CT 検査室

093-603-1611（内線 3018）

9:00～16:00（土、日、祝日除く）